

この評価ソフトは、改正省エネ基準の経過措置が終わる2015年3月までの期間限定で使用できます。

# CASBEE 新築[簡易版]

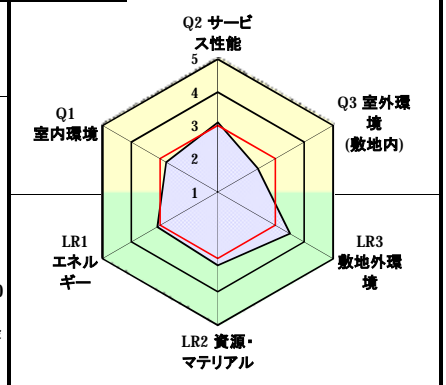
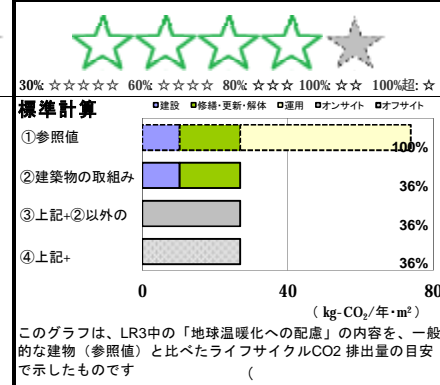
# 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築[簡易版] 2010年補遺版Ver.2 (BPI/BEI対応) | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb\_2010bei&bpi(v.2.1)

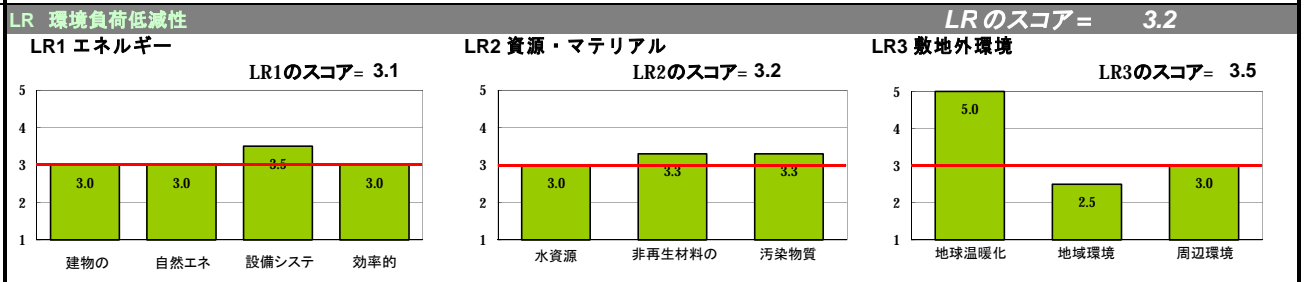
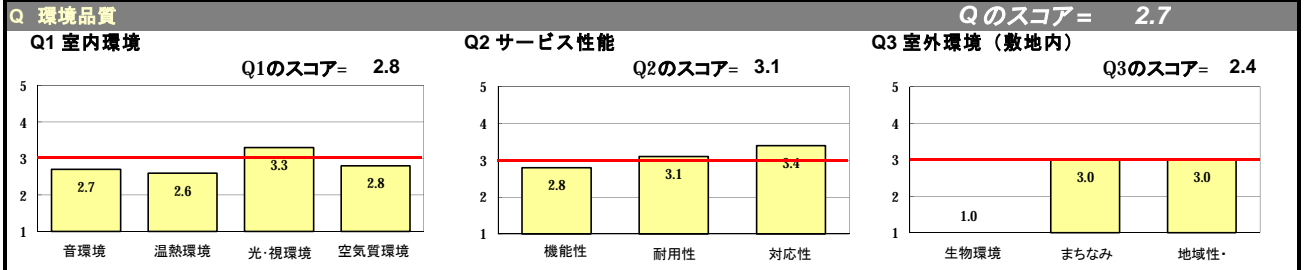
1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)関西女子短期大学 新校舎建	階数	地上8F
建設地	大阪府柏原市旭ヶ丘3丁目4803-1外	構造	S造
用途地域	第2種中高層住居専用地域、22条指	平均居住人員	800 人
気候区分		年間使用時間	2,000 時間/年
建物用途	学校,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2015年8月 予定	評価の実施日	2014年7月14日
敷地面積	39,304 m <sup>2</sup>	作成者	(株)熊谷組 甲田智之
建築面積	614 m <sup>2</sup>	確認日	2014年7月22日
延床面積	4,848 m <sup>2</sup>	確認者	(株)熊谷組 井塚通浩



## 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート) 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート) 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



## 2-4 中項目の評価(バーチャート)



## 3 設計上の配慮事項

総合	その他
注) 設計における総合的なコンセプトを簡潔に記載してください。	注) 上記の6つのカテゴリー以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価しにくい環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。
建物1階は学園キャンパス内敷地の緩やかな傾斜に連続し、親しみのある空間形成に配慮した。学園の地域活動とともに、地域環境に配慮した建材の選定などの取組みを行う。また耐久性・柔軟性のある計画に留意し、耐用性能を考慮し	
<b>Q1 室内環境</b> 注) 「Q1 室内環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。	<b>Q2 サービス性能</b> 注) 「Q2 サービス性能」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。
界壁に遮音性能TLD50乾式間仕切りを設置し、室内環境の	耐久性のある建材の選定や将来の間仕切り等変更に対応で
<b>LR1 エネルギー</b> 注) 「LR1 エネルギー」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 注) 「LR2 資源・マテリアル」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。
エネルギーの削減や自然エネルギーの活用を目指し、便所の照明に人感センサー等を採用した。	外構舗装インターロッキングブロックの再利用やリサイクル資材の採用等、材料使用量の削減に努めた。
	<b>LR3 敷地外環境</b> 注) 「LR3 敷地外環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。
	周辺の交通環境への配慮として、送迎バスの運行など継続的な取組みにより、交通負荷の抑制を図る。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

# 大阪府建築物環境配慮評価システム

## 大阪府の重点評価(結果)

Osakafu-新築・既存2010V1.03

<b>【建物概要】</b>	建物名称	(仮称)関西女子短期大学 新校舎建築工事		
	建設地	柏原市旭ヶ丘3丁目4803-1外56筆 羽曳野市誉田1745-3外16筆		
	用途/区分	学校		
<b>【評価結果】</b>	CASBEE 総合評価			B+
	CO2削減			5
	省エネ対策			3
	みどり・ヒート アイランド対策			2
	エネルギー消費量の報告			報告しない

【評価項目】				
省エネルギー対策		① CO2削減		
		② 省エネ対策		
項目	評価内容	スコア	評価	
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	5.0	5
② 省 エ ネ 対 策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 3」のスコアによる評価	建物全体 3.0	3
		住戸・宿泊		
	建物の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	3.0	
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	3.0	
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	3.5	
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価	3.0	
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価	3.0	
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	報告しない	
みどり ヒートアイランド対策		③ みどり・ヒートアイランド対策		
項目	評価内容	スコア	評価	
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	1.0	2	
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	3.0		
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	2.0		
その他				
先進的技術の導入	技術の名称	考慮事項		
特に配慮した事項				